

障害者ダイビング

T・Y

。今回は障害者ダイビングと昨年秋の石垣島ダイビングについて紹介します

僕がダイビングを始めたのは2007年でした。和歌山の白崎海岸で体験ダイビングを何度か経験した後、障害者ダイビングのライセンスを取得しました。次は沖縄とと思っていましたが、初めての沖縄は現地まで行ったものの台風の直撃で潜ることができず…今回はその時以来の沖縄ダイビング再挑戦でした。僕が潜るときは、介助者に後ろから抱えられた形で潜ります。意思疎通は僕の場合、うなずくか首を振ることでします。呼吸もフルフェースのマスクなので難しくありません。耳抜きさえできれば快適に潜れます

石垣島では

2日間で合計4本潜りました。白崎海岸ではいつも海岸から潜っていますが、今回はボートでポイントまで移動してから潜ります。いい天気でも波も穏やかでしたが、それでもかなり揺れました。はじめの、うちは10m近くという今まで経験したことのない深さに耳抜きがなかなか出来ず苦勞しました。石垣の海は透明度が高く、サンゴ礁や色とりどりの熱帯魚などをはっきりと見ることができました。水温が高いのも寒さが苦手な僕にとっては有難く、海から上がった後も沖縄の強烈な日差しであまり凍えずに済みました。今回は運がよく、クマノミやアオウミガメ、さらには一番楽しみにしていたマンタの群れが目の前を泳いで行くのを見ることができました4年越しの夢が叶い、大満足なダイビングとなりました

海の中は陸上とは違う世界が広がっています。水中では浮力が利くので、ある意味で陸上よりもバリアがないのかもしれない。海の中の世界に興味がある方、いかがでしょうか？



ダイビングの機材（フルフェースなので呼吸が楽です）



サンゴ礁の中を泳ぐ様子 周りには多くの熱帯魚



海中にいたアオウミガメ



目の前を泳いでいくマンタの群れ